



国保依田窪病院の理念

- 地域に密着した心あたたかな医療を実践します
- 地域における基幹病院として高度医療を提供します

◆家族待合室の改修・移転が完成!

手術室前の「家族待合室」の改修・移転工事が終了し、ご利用いただけるようになりました。工事中ご不便をお掛けしましたことをお詫びいたします。

改修された「家族待合室」は、以前の倍以上の広さで、同時に数件行われる手術にも対応出来るスペースが確保されています。畳の部分が大半を占めていますが、靴のまま座れるソファも用意されています。また、院内食堂「こまくさ」さんのご協力により、食事・飲み物の配達も可能となっています。メニューは室内の机に置いてあります。

「家族待合室」となっていますが、一般の患者さんのご使用も可能です。検査の待ち時間等にご利用いただいても問題ありませんが、在室のご家族へのご配慮をよろしくお願いいたします。

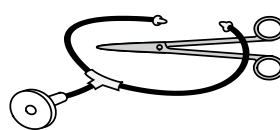


家族待合室の室内（畳）



家族待合室の室内（床）

伝言板



電子カルテ更新に関するお知らせとお願い

当院では平成24年度に電子カルテシステムを全面更新する予定となっています。

職員一同、新システム移行に向け昨年からの準備を進め、万全の体制で臨む所存ですが、システムの不備、不慣れな操作等により、受付、診察、検査、会計などに時間がかかり、患者さんにご迷惑をお掛けする事も危惧されます。

皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◇病院モニターのご紹介

平成19年4月から“病院モニター制度”をスタートさせ、この3月で5年を迎えます。これまでに、長和町長門地区・長和町和田地区・上田市武石地区からそれぞれ1名の方に委嘱させていただき、3名の方々には色々な機会を通じて、地域の皆さんと病院の太いパイプ役をお願いしてまいりました。

昨年4月には上田市武石地区の清住和さんをご勇退され、伏見貴昭さんをご推薦いただき、委嘱させていただきました。長和町長門地区 北村よう子さん、長和町和田地区 田中俊郎さんは引き続きモニターをお願いしてあります。

上田市武石地区の清住和さんには、2期4年にわたり、病院に対する助言等をいただきました。ありがとうございました。大変失礼とは存じますが、紙面をもちましてお礼とさせていただきます。



三澤院長から委嘱書を渡される伏見さん

◇看護師救急医療業務実地修練を終えて

手術室看護師 斉藤 和弘

今回、救急看護能力の向上を目指すと共に、救急外来等において患者さんをトリアージ出来る知識・技能を習得するため、厚生労働省主催の看護師救急看護業務医療実地修練に参加しました。当院は地域の基幹病院であるため、災害時のトリアージについても学ぶ良い機会だと考えたからです。

研修は、座学(少人数によるグループワーク)形式で行いました。救急外来に運ばれてくる患者さんの病態生理、救急時における緊急度と重症度の判断、トリアージ看護師の必要性、ACLS(二次救命処置)のリーダー・ファシリテーターとしての関わりなどを中心に行われました。

救急患者さんが搬入された時、最も重要な事は短時間で緊急度と重症度の判断をすることです。病態の理解、看護技術の習得は必須であり、なおかつアセスメント(評価)が重要になってきます。知識・技術の理解は当たり前と考え、「アセスメント能力の向上」を目指すことが重要であると言えます。

また、救急患者さんのなかでも心肺停止状態に陥られた方に対しては、如何に早く処置が行われたかが重要となります。そうした患者さんに対しては、その場に居合わせた人間による救急処置が必要となることから、病院スタッフ全員の迅速な対応が必須となります。サッカーの松田選手の悲劇後、地域の学校や会社においてもAEDの配置が進んでいますが、こうした救急の現場における対応は、医療者のみならず、一般の方々に向けても定期的な講習会などが必要だと言えます。

トリアージ看護師とは、診察前に緊急度・重症度の判断を行う役割を担う看護師のことです。救急救命センターを持つ病院では、まず看護師がトリアージを行い、診察の順番などを決めています。東日本大震災のような自然災害、秋葉原無差別殺傷事件などの人的災害においても、トリアージ看護師の存在は重要でした。これからは当院も地域の基幹病院として災害に備え、トリアージ看護師の養成や、DMAT(災害派遣医療チーム)のチーム編成の準備なども必要になると感じました。

施設実習は東京医科大学で行い、主に救急救命センターに運ばれてくる患者さんの対応を研修しました。医師・看護師が緊急度・重症度を判断し、適切な治療・看護が行われていました。自分もチームの一員として看護を行い、冷静に判断し行動する重要性が理解出来ました。また医師・看護師がチームとして動くことの重要性を再確認することが出来ました。

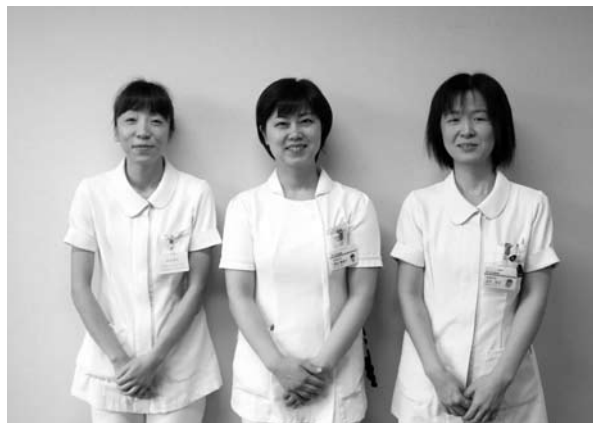
今回の研修は、自らの救急看護の指標となるものでした。現在当院で行われている救急看護をより良いものに出来るよう、研修の成果を発揮して行きたいと考えています。

◇病院の実情をシリーズでお知らせ！

○入院病棟の状況について

病棟は、一般病棟が4階と5階、亜急性期病棟が3階の3病棟で構成されています。全体で140床のベッドがあり、患者さん一人ひとりに最適な治療や看護が行えるよう、3病棟それぞれに特徴があります。

入院される患者さんにとって快適な療養環境の配慮に努め、1日も早い回復のため心のこもった看護を提供しています。今年度の看護部方針「優しい手 優しい心 愛と温もりの看護」を実践するため、部門間での連携、切れ目のない継続看護に努め、地域に信頼される病院を目指しています。



左から黒沢看護師長・森田看護師長・田中看護師長

【3階病棟 亜急性期病棟】

3階病棟は、「亜急性期病棟」です。「亜急性期病棟」とは、急性期治療を終了してもすぐに在宅や施設へ退院するには不安のある患者さんや一時的に医療必要度が高まった状態にある患者さんに対し、集中的な医療管理、診療及び看護を提供する病棟をいいます。退院後の生活を見据えた看護を提供する「退院支援病棟」です。

整形外科、内科、外科の急性期病棟での治療を経過した患者さんを対象としていますが、1泊2日の脊髓腔造影や慢性期（療養期）の患者さんも入院されています。ご高齢の患者さんが多く、入院・転棟時より医師・リハビリ・ソーシャルワーカーや地域の担当者と連携し、安心して在宅や施設に退院していただけるよう支援をしています。

3階病棟看護師長 田中 紀子

【4階病棟 手術患者病棟】

4階病棟は、「周術期病棟」として、整形外科・外科・眼科・泌尿器科の手術前後の患者さんや手術を行わない保存治療の患者さんを対象に、治療を行う急性期病棟です。クリニカルパス（入院診療計画書）が多く導入されているのも特徴です。

2週間以内の短期入院を除き、手術後1～3週間で「亜急性期病棟（3階病棟）」へ転棟します。手術して元気に退院していただけることが看護している私たちの励みです。

4階病棟看護師長 森田優美子

【5階病棟 内科系病棟】

5階病棟は、内科・外科・整形外科・小児科の「急性期混合病棟」です。緊急の検査・治療が必要な患者さんが多く、急性期の確定診断から早期の治療が開始されるために、タイムリーな看護計画の立案・実施・評価・修正が必要となります。入院時より患者さんの状態を理解し、患者さんに合わせた看護を行っています。ご高齢者の患者さんが多く、脳血管疾患、肺炎の患者さんも入院されています。心臓カテーテル検査、消化器内視鏡治療、脊髓腔造影検査、関節リウマチの化学療法治療は、1泊2日～2泊3日と入院日数も短いことが特徴です。

5階病棟看護師長 黒沢 直美

外 来 診 療 担 当 医 表

桃字は予約のみです。 ■ は休診です。

2012年3月更新

診 療 科	火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総 合 診 療 科	小河原	高 田	小河原	小河原	高 田	小河原	小河原	高 田	小河原	交代制 ※1
内 科	竹 中 (循環器)		越 知	白 川 (2・4週)	竹 中 (循環器)	白 川	竹 中 (循環器)		須 山	交代制 ※1
	堀 込 信 大		堀 込 小岩井 信 大		白 川 (消化器)		白 川 (消化器)		小岩井 高 田	
外 科	石 橋 小松原	石 橋	小 澤		小 澤		小 澤		小 澤 小松原	石 橋
整 形 外 科	堤 本		堤 本		太 田		由 井		滝 沢	吉 村 (3週)
	太 田 水 谷 塩 澤 由 井 池 上		池 上 古 作 (1・3週) 三 澤 太 田 滝 沢 吉 村 (2・4・5週)		水 谷 交代制 ※1 古 作		荻 原 三 澤 堤 本 太 田 水 谷		古 作 信 大 三 澤 堤 本 由 井 池 上	
小 児 科	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	森 澤	信 大	森 澤
泌 尿 器 科	喜 連		喜 連		喜 連		喜 連			
眼 科	信 大				信 大		信 大		信 大	
耳 鼻 咽 喉 科									信 大	
皮 膚 科			宇 原				吉 川			
循 環 器 内 科	信 大								信 大 (1週)	
肝 臓 外 来									信 大 (2・4週)	
呼 吸 器 科				牛 木						
脳 外 科								信 大		
神経膠原病内科		進 藤						高 (1・2・4週)		
高齢者総合外来									石 橋	

附属和田診療所

	火	水	木	金	土
担 当 医 師	飯 島	飯 島	飯 島	石 橋	飯 島

午前受付時間：8：00～11：30

午後受付時間：総合診療科：14：00～16：00 内科（土）：14：00～16：00

小児科：15：00～16：30（土曜日のみ15：30～16：30） 脳外科：13：30～14：30

休診日：日曜日、月曜日、祝祭日、年末年始（12月29日～1月3日）、1月15日

※1：当院医師1名が交代で診療にあたります。

◆予約の変更については、14時～17時をお願い致します。

◆月1度は保険証等の提示をお願い致します。3ヶ月以上確認できない場合全額自己負担していただく場合がございます。

国保依田窪病院

〒386-0603 長野県小県郡長和町古町2857

TEL 0268(68)2036

FAX 0268(68)4034

発行 国保依田窪病院

印刷 株式会社アオヤギ印刷